

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和２年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2020-8	PC 鋼材、定着具、鉄筋にステンレス鋼を用いた新たな高耐久プレストレストコンクリート構造の開発	長岡技術科学大学 教授 下村 匠	A
<p><研究の概要></p> <p>プレストレストコンクリート構造の耐久性の飛躍的向上を目的に、鉄筋、PC 鋼材、定着具のすべての鋼材にステンレス鋼を用いることにより鋼材腐食の危険性を払拭したプレストレストコンクリート構造部材の開発・実用検討を行う。</p> <p><中間評価結果></p> <p>腐食に対する抵抗性を確認していること、ステンレス PC 鋼材の伸び能力の問題点の明確化と解決策の検討により、設計上の留意事項等の提案まで期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用化に向けた成果が得られており、適用マニュアルの整備を望む。 ・高い応力下で使用することもあり、施工中の傷や、孔食が生じたときの耐久性などについても試験法を充実する必要はないか。また、鋼材・定着具や試験法の規格化に向けた総括が必要である。 ・鋼材、定着具の規格化の試案、耐久性試験法の規格化の試案、及び、設計、施工の留意点をまとめる点について、具体的な計画を示すべき。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 45 回新道路技術会議において審議したものである。